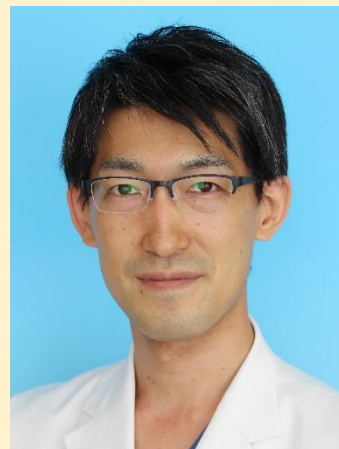


✓ 豊富なマンパワー！
24時間、充実の診療体制！

✓ 若年者の気胸では
最新の【単孔式手術】を実施！



呼吸器外科医長 兼 気胸センター長
大亀 剛（おおき たかし）

2020年5月に気胸センターを開設しました。呼吸器内科・呼吸器外科が連携して治療を行う体制を整えました。患者さま個々の病状、仕事や受験などの社会的背景を考慮し、最適な治療を提案していきます。

最新の気胸外科治療 1.8cmの傷1か所で行う「単孔式手術」

気胸センター/呼吸器外科では、主に若年の患者さんを対象に、全国的にもまだ導入施設が少ない「単孔式胸腔鏡手術」を2018年から行っています。胸腔ドレーンを留置する創をそのまま手術で利用するため、複数の傷が必要な従来の手術と比べ、痛みや整容性に優れています。



受診

呼吸器内科・呼吸器外科
いずれの診療科にご紹介を頂いても連携して診療をさせていただきます。

入院

必要に応じて胸腔ドレーンを留置します。手術適応がある場合、**最短で翌日手術を行います。**

手術

標準的な手術時間は40分～1時間程度です。気漏のリスクが低い場合は、**ドレーンを留置せずに帰室します。**膀胱留置カテーテルは使用せず、手術当日から離床開始します。

退院

術後1～2日で退院となります。外来で創部とレントゲン確認を行い、終診となります。

お約束

医療機関さまからのご紹介を積極的にお引き受けし、病状が安定している患者さまはできるだけ、かかりつけの先生に逆紹介させていただきます。入院患者さまには、医師のみでなく、病棟看護師、病棟薬剤師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー、栄養士などのコメディカルスタッフと協力して患者さまごとに治療方針を相談して決定していくことを心掛けております。